



東温市 まち・ひと・しごと創生

総合戦略



平成 27 年 10 月

愛媛県 東温市



目 次

1	基本的な考え方	1
(1)	総合戦略策定の趣旨	1
(2)	計画策定の位置づけ	2
(3)	計画の期間	2
(4)	推進体制及び進捗管理	3
(5)	政策 5 原則 + 「独自性」「新規性」を重視した施策の推進	4
2	計画の基本目標と推進	5
(1)	基本的な視点	5
(2)	基本目標概要	6
3	施策展開に向けた方向性（SWOT 分析）	8
(1)	SWOT 分析による施策展開	8
(2)	基本目標と具体的な施策	10
4	具体的な施策の展開	14
基本目標 1	安定した雇用環境をつくる	14
基本目標 2	住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる	23
基本目標 3	出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる	30
基本目標 4	安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる	38



1

基本的な考え方

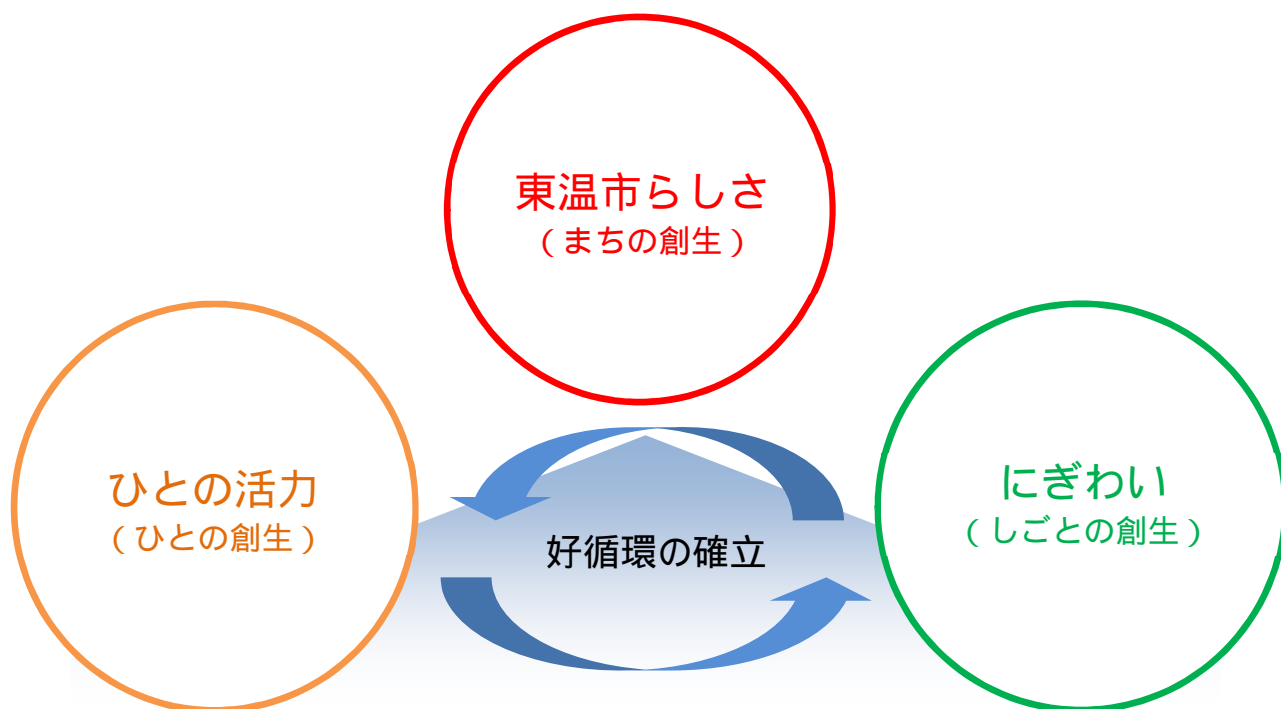
(1) 総合戦略策定の趣旨

東温市（以下「本市」という。）の人口は、平成 21 年をピークに減少傾向にあり、国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計によると、平成 52 年（2040 年）には 29,451 人となり、現在の人口 34,150 人（平成 27 年 1 月 1 日）から 4,699 人（13.7%）減少すると予測されています。

また、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）が減少する一方、老年人口（65 歳以上）が年々増加しています。

こうした少子高齢・人口減少の局面に対応するためには、今後、ある程度人口が減っても耐えていける地域社会をつくることに加え、人口減少のスピードを極力緩やかに保つための取り組みが必要となります。

そこで、魅力ある「まち」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立することで人口減少に歯止めをかけ、「元気な東温市」を将来にわたって維持していくため、「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「本戦略」という。）を策定するものとします。





(2) 計画策定の位置づけ

■ 国の総合戦略との関係

本戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第 10 条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定したものです。また、本市における人口の現状と今後の展望を示した「東温市人口ビジョン」を踏まえて策定しています。

■ 東温市総合計画との関係

本戦略に掲載する施策については、策定を進めている第 2 次総合計画（H28～H37）において重点施策として位置づけます。

(3) 計画の期間

本戦略の期間は、平成 27 年度（2015 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 5 年間とします。なお、社会環境の変化、施策の進捗や効果の検証を行いながら、必要に応じて見直すものとします。



(4) 推進体制及び進捗管理

■ 取組体制と PDCA サイクル

内部推進体制（まち・ひと・しごと創生本部）

人口減少対策や地方創生に関して、部局間の意識共有や施策の横断的・戦略的な事業展開を図るため、市長を本部長する「東温市まち・ひと・しごと創生本部（以下「創生本部」という。）」を設置しています。

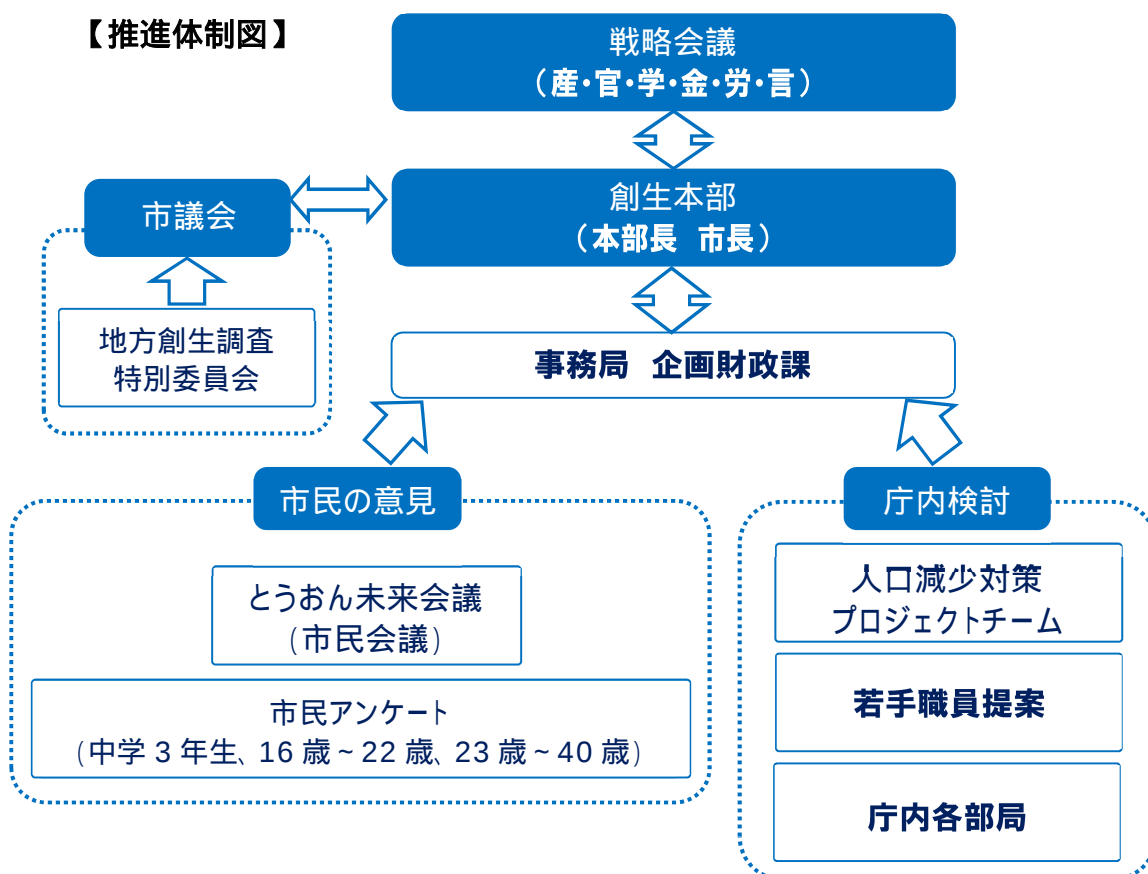
外部推進組織（まち・ひと・しごと創生総合戦略会議）

人口減少対策や地方創生を効果的かつ効率的に推進していくためには、多様な主体の参加・協力が重要であることから、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディア等で構成する推進組織として「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議（以下「戦略会議」という。）」を設置し、総合戦略の方向性や具体案について、広く関係者の意見が反映されるようにします。

市議会における推進体制（地方創生調査特別委員会）

市議会における地方創生の推進体制として「地方創生調査特別委員会」が設置されており、ここでの審議を踏まえた市議会からの提言を本戦略に反映します。

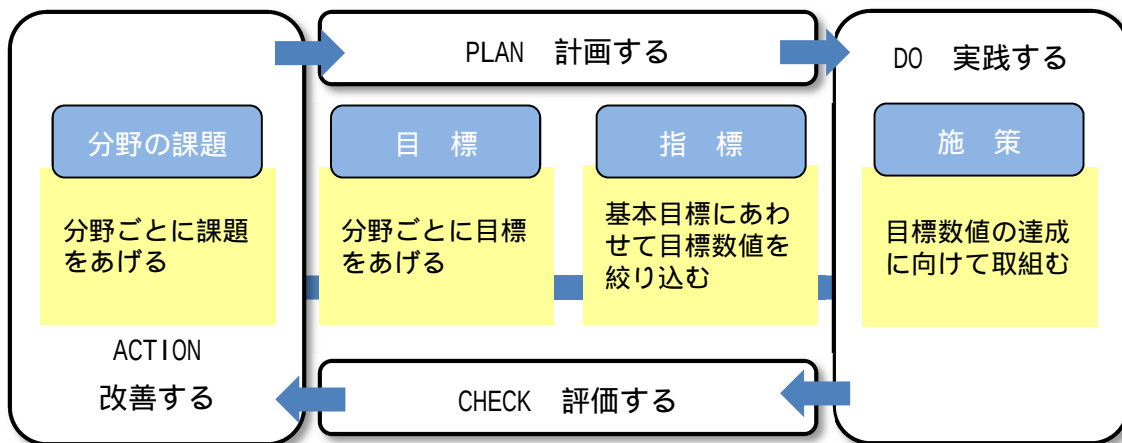
【推進体制図】





PDCA サイクル

本戦略の各施策の推進状況、取組むべき内容については、戦略会議で客観的な検証を行い、必要な見直しを行うこととします。



5) 政策5原則 + 「独自性」「新規性」を重視した施策の推進

本戦略の策定に当たっては、国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則」(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)の趣旨を踏まえ、さらに本市独自の観点として「独自性」と「新規性」を強く意識し、ゼロベースで施策立案を行っています。

■ 国の総合戦略における政策5原則抜粋

- (1) 自立性
各施策、構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようにする。
- (2) 将来性
地方が自主的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。
- (3) 地域性
各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。
- (4) 直接性
限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、施策を集中的に実施する。住民代表・産官学金労の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。
- (5) 結果重視
明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。



2

計画の基本目標と推進

本戦略では、「東温市人口ビジョン」で示した以下の3つの視点と将来人口展望を踏まえ、本市の資源を最大限に活用しながら、定住人口や交流人口を増加させ、地域経済力を高める具体的かつ効果的な取組を推進します。

(1) 基本的な視点

1 市の特性、強みを活かす

企業にとっての恵まれた立地（災害が少ない）交通条件（高速道路IC）などの市の特性や強みを活かし、「ひと」と「しごと」を誘致します。

人口の社会増につなげる。

2 若い世代の希望をかなえる

若い世代の就労、結婚、子育てに関する支援を切れ目なく行い、安心して子どもを産み育てることができる環境を実現します。

人口の自然増につなげる。

3 新しい挑戦を応援する

市民や民間事業者が主体となった、将来性のある取り組みに対する支援を行い、新たな産業、雇用を創造します。

人口の社会増、自然増につなげる。

東温市人口ビジョン抜粋

2060年（平成72年）将来人口展望 30,000人

2040年（平成52年）時点 32,500人

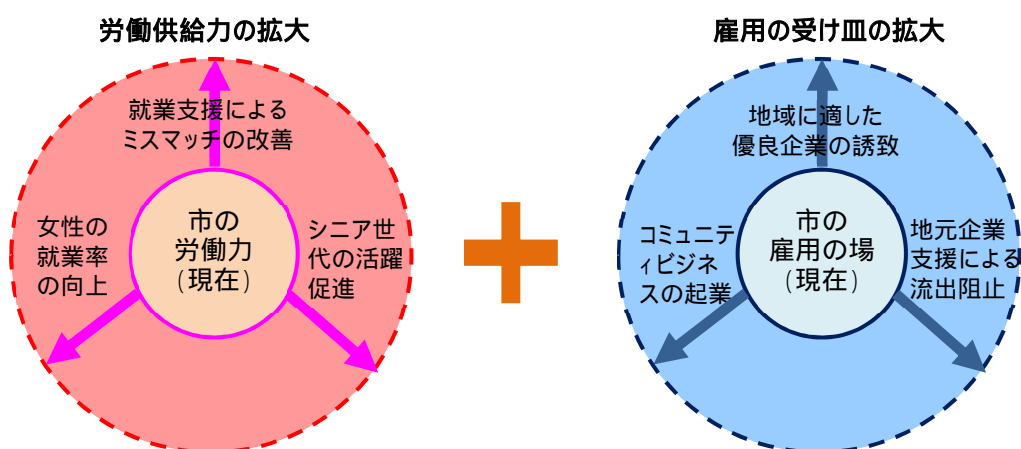


(2) 基本目標概要

「東温市人口ビジョン」に示された 2060 年の本市人口 30,000 人を実現するため、基本目標として次の 4 つを設定します。

基本目標 1 安定した雇用環境をつくる

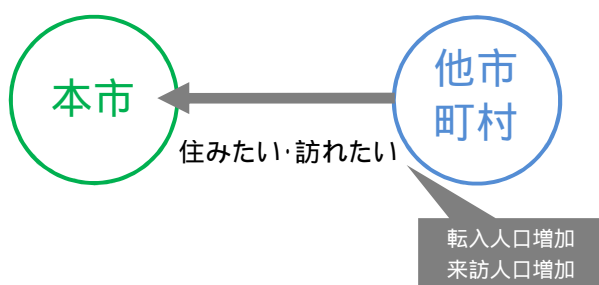
本市の恵まれた立地・交通条件を活かし、企業が進出しやすい環境を整えます。
また、多様で付加価値の高い、新たな産業を育成することにより、社会経済情勢の変化に対応する、足腰の強い産業構造の構築と就業機会の拡大を目指します。



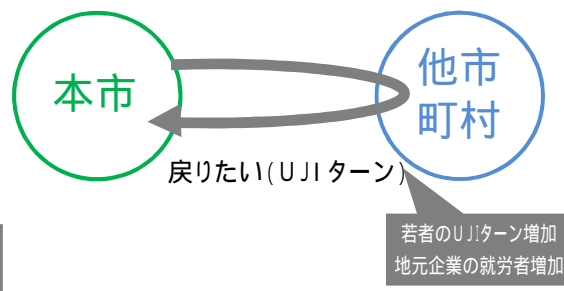
基本目標 2 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる

地域資源を磨き上げ、PR することによって、市のイメージアップを図るとともに、移住・交流を促進する施策に官民一体となって取り組むことで、定住人口の増加を目指します。

■ 新しい人の流れを呼び込むために



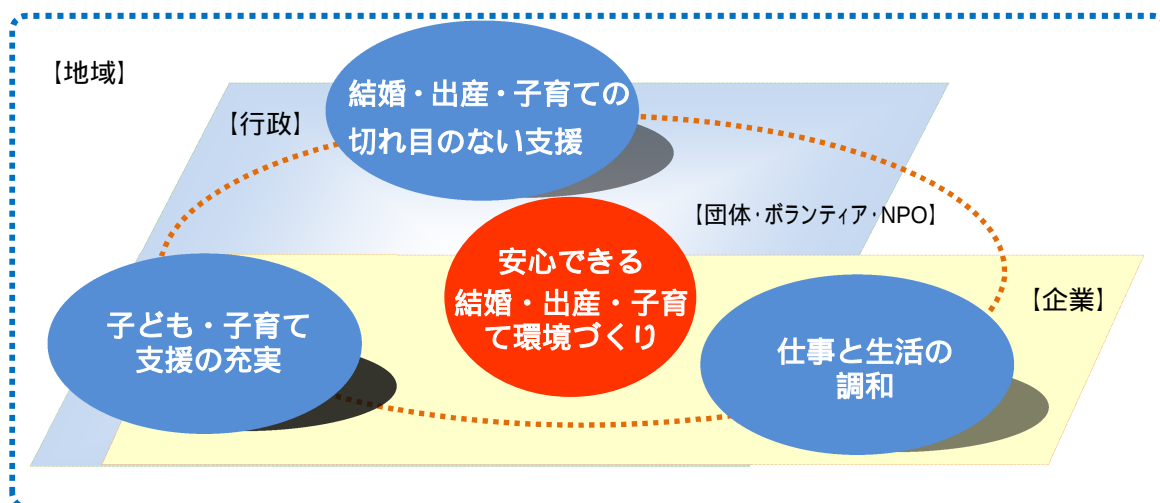
■ 外向きの人の流れを引き戻すために





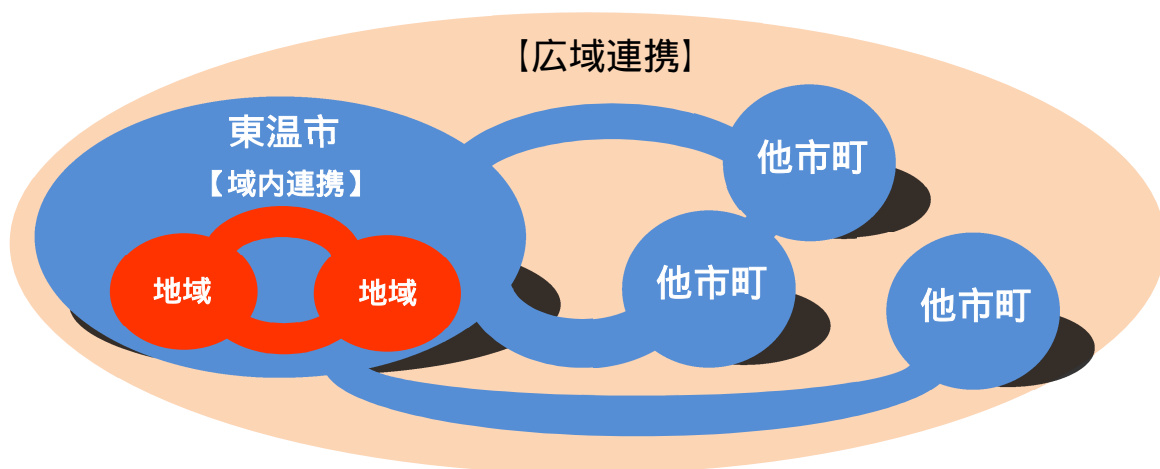
基本目標3 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる

既に実施している子育て支援策をより分かりやすく情報発信するとともに、共働きを前提とした子育て支援の拡充を図ることによって、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の実現を目指します。



基本目標4 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる

市民の力を市政に活かすとともに、他市町と連携して広域的な視点で社会、経済構造の転換を図ることにより、誰もが夢といきがいを持って、活き活きと生涯暮らせる生産性の高いまちの実現を目指します。





3 施策展開に向けた方向性（SWOT分析）

（１）SWOT分析による施策展開

本戦略を推進する上で、本市の強みや弱みなどの特性と、機会や脅威などの状況を以下のとおり分析しています。（主なデータを記載）

強み Strength	機会 Opportunity
○災害が少なく企業立地条件が良い ○自然環境が豊か ○医療・子育て環境が充実している ■若年女性の減少率が低い - 市への愛着がある人が多い	○志津川分譲地等の住宅開発が盛んである ■空き家が増加している ■就業人口の減少及び第１次・第２次産業人口割合が低下している - 理想の子ども数は「３人」が多い
弱み Weakness	脅威 Threat
■農業従事者が高齢化している - 県外からの認知度が低い - 市への訪問目的として多い「観光」「食事」のスポットが少ない - 実際に持つ子どもの数は「２人」が多い	■山間部の高齢化が特に進んでいる ■夫婦のみ世帯、単独世帯が増加している ■一人当たりの所得が県平均より低い - 市内の人は市外へ通勤・通学している

○市の概況からのデータ ■統計資料からのデータ アンケートからのデータ

１．強みであり、機会である 強みを活かす積極戦略 【目標１】１-１ 企業誘致の推進 【目標２】１-１ 移住・定住の促進 【目標２】１-２ 優良な住環境の整備 【目標３】１-１ 婚活への支援 【目標３】３-４ 特色ある教育の推進 【目標４】１-１ 市民と連携したまちづくりの強化	２．強みだが、脅威である チャンスに変える差別化戦略 【目標１】１-２ 起業への支援 【目標１】２-２ 愛大医学部と市内企業との連携 【目標３】３-１ 三世帯同居への支援 【目標４】１-２ 集落の維持・活性化 【目標４】２-１ 広域連携による地域の活性化
３．弱みだが、機会である 弱みを克服する改善戦略 【目標１】３-１ とうおんブランドづくりの推進 【目標１】３-２ 消費・需要に合わせた新産業の育成 【目標２】１-３ 地域情報の発信 【目標２】２-１ 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興 【目標２】２-２ 観光資源の魅力強化 【目標３】２-１ 婚活・出産への支援	４．弱みであり、脅威である 脅威を回避する防衛戦略 【目標１】１-３ 農林業の振興 【目標１】２-１ 販路拡大の促進 【目標３】３-２ 子育て世帯への経済支援 【目標３】３-３ 子育てしやすい環境づくり 【目標４】１-３ アクティブシニアの推進



■SWOT 分析の概要

本市特性や状況			展開する施策	
強み	○災害が少なく企業立地条件が良い	機会	■就業人口の減少及び第1次・第2次産業人口割合が低下している	【目標1】1-1 企業誘致の推進
	○自然環境が豊か		■空き家が増加している	【目標2】1-1 移住・定住の促進
	○医療・子育て環境が充実している		○志津川分譲地等の住宅開発が盛んである	【目標2】1-2 優良な住環境の整備
	■若年女性の減少率が低い		○民間婚活イベントが開催されている	【目標3】1-1 婚活への支援
	市への愛着がある人が多い		○市の歴史等をまとめた副読本がある	【目標3】3-4 特色ある教育の推進
強み	○災害が少なく企業立地条件が良い	脅威	■空き店舗が増加している	【目標1】1-2 起業への支援
	○医療・子育て環境が充実している		■中小零細企業が多い	【目標1】2-2 愛大医学部と市内企業との連携
	○医療・子育て環境が充実している		■夫婦のみ世帯、単独世帯が増加している	【目標3】3-1 三世帯同居への支援
	○自然環境が豊か		■山間部の高齢化が進んでいる	【目標4】1-2 集落の維持・活性化
	市への愛着がある人が多い		市内の人は市外へ通勤・通学している	【目標4】2-1 広域連携による地域の活性化
弱み	市への訪問目的として多い「観光」「食事」のスポットが少ない	機会	■就業人口の減少及び第1次・第2次産業人口割合が低下している	【目標1】3-1 とうおんブランドづくりの推進
	県外からの認知度が低い		■就業人口の減少及び第1次・第2次産業人口割合が低下している	【目標1】3-2 消費・需要に合わせた新産業の育成
	県外からの認知度が低い		○都市（産業）農村（農林業）両面からのPRができる	【目標2】1-3 地域情報の発信
	県外からの認知度が低い		○坊っちゃん劇場が内外で評価を得ている	【目標2】2-1 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興
	市への訪問目的として多い「観光」「食事」のスポットが少ない		○自然を活かした観光スポットがある	【目標2】2-2 観光資源の魅力強化
弱み	■出生率が低下している	脅威	理想の子ども数は「3人」が多い	【目標3】2-1 妊活・出産への支援
	■農業従事者が高齢化している		■山間部の高齢化が特に進んでいる	【目標1】1-3 農林業の振興
	県外からの認知度が低い		■一人当たりの所得が県平均より低い	【目標1】2-1 販路拡大の促進
	実際に持つ子どもの数は「2人」が多い		■一人当たりの所得が県平均より低い	【目標3】3-2 子育て世帯への経済支援
	実際に持つ子どもの数は「2人」が多い		■夫婦のみ世帯、単独世帯が増加している	【目標3】3-3 子育てしやすい環境づくり
弱み	■農業従事者が高齢化している	脅威	■山間部の高齢化が特に進んでいる	【目標4】1-3 アクティブシニアの推進



(2) 基本目標と具体的な施策

目標	施策方針	施策番号	施策名
基本目標1 安定した雇用環境をつくる			
1 働く場所をつくる			
1-1 企業誘致の推進	1	工業団地の造成	
	2	スマートインターチェンジの整備	
	3	トップセールスによる企業誘致	
1-2 起業への支援	4	起業やキャリアアップの支援	
	5	空き店舗の活用支援	
1-3 農林業の振興	6	農林業者・消費者双方に対する情報発信	
	7	集落営農・6次産業化の支援	
	8	林業の新たな事業化の支援	
2 市内企業を応援する			
2-1 販路拡大の促進	9	中小零細企業への支援	
	10	「逆」商談会の開催	
	11	市内事業所による交流イベントの開催	
2-2 愛大医学部と市内企業との連携	12	ものづくり産業の創生	
	13	ヘルスケア産業の創生	
3 新たな価値をつくる			
3-1 とうおんブランドづくりの推進	14	新規ブランド、ふるさと名物商品の開発	
	15	とうおん銘菓のブラッシュアップ	
3-2 消費・需要に合わせた新産業の育成	16	新規産業への支援	
	17	ICT活用による生産販路の拡大	



目標	施策方針	施策番号	施策名
基本目標2 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる			
1 ．移住・定住を応援する			
1-1 移住・定住の促進	18	移住相談窓口の設置	
	19	移住・就業体験の実施	
	20	U J I ターンの推進	
	21	お試し農業体験の実施	
	22	Uターン奨学金制度の創設	
1-2 優良な住環境の整備	23	空き家の活用	
	24	志津川土地区画整理事業地等の分譲促進	
1-3 地域情報の発信	25	地域案内人制度の創設	
	26	地方創生総合サイトの構築	
	27	応援市民登録制度の創設	
2 ．地域資源で人を呼ぶ			
2-1 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興	28	レスパスシティの観光・交流拠点化	
	29	坊っちゃん劇場を核とした文化交流の拠点化	
2-2 観光資源の魅力強化	30	エコツーリズムによる「まちづくり型観光」の推進	
	31	滑川観光資源の活用	
	32	サイクリングコースの開設、イベントの開催	



目標	施策方針	施策番号	施策名
基本目標3 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる			
1. 出会いを応援する			
1-1 婚活への支援	33	婚活事業への支援	
	34	縁結びサポーターの育成	
2. 妊活・出産を応援する			
2-1 妊活・出産への支援	35	特定不妊治療への助成	
	36	子ども用品のリサイクル促進	
3. 子育てを応援する			
3-1 三世代同居への支援	37	三世代同居・近居家族への支援	
3-2 子育て世帯への 経済支援	38	保育料の軽減	
	39	第3子以降の保育料軽減	
	40	多子世帯への住宅支援	
	41	子どもの医療費助成	
	42	子育て応援パスポートの発行	
3-3 子育てしやすい 環境づくり	43	園児・児童預かりサービス、児童館の内容充実	
	44	子育てに関するインターネット総合サイトの構築	
	45	ワーク・ライフ・バランス、働き方の見直し支援	
	46	出産後の職場復帰・再就職の支援	
	47	ファミリー・サポート・センターの充実	
3-4 特色ある教育の推進	48	ふるさと教育・キャリア教育の推進	
	49	地域の伝統・歴史等の教育の充実	



目標	施策方針	施策番号	施策名
基本目標4 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる			
1 時代に合った地域をつくる			
1-1 市民と連携した まちづくりの強化	50	市民ワークショップの開催	
	51	市民提案事業への助成	
	52	まちづくり団体等の育成	
	53	多世代交流拠点の整備	
	54	地域通貨制度の創設	
1-2 集落の維持・活性化	55	地域人材・外部人材活用による集落活性化	
	56	中山間地域における住民主体の取組支援	
1-3 アクティブシニアの 推進	57	シニア人材の発掘、登録、活用	
	58	シニア人材活躍の場としてのサロンの整備	
2 地域同士で支えあう			
2-1 広域連携による地域の活性化	59	松山圏域連携中枢都市圏の形成	

■ KPI（重要業績評価指標）の設定について

本戦略では、実施する施策の KPI の設定に関して、独自の数値指標を設定して取組を評価するものとします。施策に対する「行動目標」と「成果目標」を設定することで、毎年の見直しや基本目標の達成度を評価する仕組みを構築しています。（ KPI（成果目標）は、原則 5 年間での集計としています。）

【例】

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	工業団地の造成	製造、物流、サービスなど多様な業種が参入できる新たな工業団地を整備します。 【具体的事業】 ○ 工業団地造成事業（新規）		1
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		整備箇所調査検討	1 箇所整備着手	



4

具体的な施策の展開

基本目標 1 安定した雇用環境をつくる

基本方針

本市の恵まれた立地・交通条件を活かし、企業が進出しやすい環境を整えます。

また、多様で付加価値の高い、新たな産業を育成することにより、社会経済情勢の変化に対応する、足腰の強い産業構造の構築と就業機会の拡大を目指します。

成果目標

目標項目	単位	基準値	目標値（H31）
雇用創出数	人	—	500
新規農林業従事者数	人	—	50

雇用創出数：企業の立地・拡充、新規事業、起業による雇用数とする。

新規農林業従事者数：新規就農、事業承継、Uターン就農者等とする。

施策設定に至るプロセス

強み

良質の米生産地であり、麦やいちごなどの特産物がある
 豊かな森林資源がある
 市内の都市部と山間部の交通アクセスが良い
 高速道路、川内IC、幹線国道など市外からのアクセスが良い
 災害が少なく、企業立地候補地として上がりやすい
 「製造業」、「医療・福祉」の雇用力がある
 市外からの流入人口が多い

弱み

農林業の担い手が減少している
 中山間地域が多く、経営基盤が弱い
 小規模農業が多く、農家が高齢化している
 企業立地に適した宅地が少ない
 空き家、空き店舗が増加している



各種会議の意見

- 空き家、空き店舗を事務所や作業所として活用する
- 起業経験のある OB をサポーターとして採用する
- 自伐型林業と有機農業を展開し、6 次産業化を進める
- 金融機関と行政が情報共有できる制度を確立する
- 東温市らしいブランド化戦略が必要である
- 農産物の販路開拓を支援する
- 廃校舎等を利用したサテライトオフィスを建設する
- 休耕田等を第 3 者に流動させる仕組みづくりが必要である
- 農家と林家の先輩が P R することで、新規就農者を確保する

■ : 戦略会議意見 □ : 市民会議

議会からの提言

四国一の物流センター及び物流団地 サテライトオフィスの誘致
 小規模経営者への支援 野菜工場の建設 農産物の販売所の創設
 安全な農産物のブランド化と複合的ファーム運営
 高齢者の 6 次産業プロジェクト 道の駅の創設 森林資源の活用
 地域内エネルギー循環システム 商工業者リスト作成による地域循環
 いちごのブランド化 東温産裸麦味噌の製造販売
 新規事業への取組み支援 既存事業への成果型補助金

アンケート調査

- 市内で就職したいが、就職先がない
- 起業支援や就労支援として企業誘致を望む人が多い
- 専門職への就職希望者、起業希望者が多い
- 進学・就職で市外に出る人が多い



なにをすべきか

1. 働く場所をつくる

- 1-1 企業誘致の推進
- 1-2 起業への支援
- 1-3 農林業の振興

2. 市内の企業を応援する

- 2-1 販路拡大の促進
- 2-2 愛大医学部と市内企業との連携

3. 新たな価値をつくる

- 3-1 とうおんブランドづくりの推進
- 3-2 消費・需要に合わせた新産業の育成



1. 働く場所をつくる

雇用の場を創出するため、工業団地の造成やトップセールスによる企業誘致、起業の支援など、市内で働く場所づくりを推進します。また、農林業を振興するための情報発信や6次産業化の支援、林業の新たな事業化を支援します。

1-1 企業誘致の推進

強みを活かす積極戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	工業団地の造成	製造、物流、サービスなど多様な業種が参入できる新たな工業団地を整備します。 【具体的事業】 ○工業団地造成事業（新規）		1
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		整備箇所調査検討	1箇所整備着手	
2	スマートインターチェンジの整備	大型商業施設、救急医療施設、新たに整備する工業団地などへのアクセス性を高めるスマートインターチェンジを整備します。 【具体的事業】 ○スマートインターチェンジ整備事業（新規）		2
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		整備箇所調査検討	整備着手	



No	施策名	施策の概要		施策番号
3	トップセールスによる企業誘致	新たな工業団地に立地する企業の先行誘致、サテライトオフィスなどの小規模事業所の誘致などに取組みます。 【具体的事業】 ○ 企業誘致推進事業（新規）		3
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		誘致活動（通年・随時）	誘致による企業立地 2 件	

1 - 2 起業への支援

チャンスに変える差別化戦略≫

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	起業やキャリアアップの支援	新規分野（農産物の生産工場など）への起業支援制度の創設、商工会や松山市と連携した支援事業、女性の活躍を応援する事業に取組みます。 【具体的事業】 ○ 新たな起業支援事業（新規） ○ 女性のチャレンジ応援事業（新規）H27～		4
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		起業支援制度の創設 女性のチャレンジ応援事業創設	支援事業 2 件/年 セミナー等参加者数 15 人/年	
2	空き店舗の活用支援	空き店舗を活用して起業する事業者に対して、開業資金の一部を支援します。また、横河原駅前の活性化につながる取組みに対して支援します。 【具体的事業】 ○ 空き店舗活用支援事業（新規） ○ 横河原駅前活性化支援事業（新規）		5
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	空き店舗を活用した起業件数 5 件	



1-3 農林業の振興

「脅威を回避する防衛戦略」

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	農林業者・消費者 双方に対する情報 発信	農林業者と消費者が双方向に情報発信できるサイトを構築し、農林業者の新規取組や生産品目などを分かりやすく紹介します。 【具体的事業】 ○農林業応援サイト構築（新規）H27～ （地方創生総合サイト構築事業）		6
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		サイト構築	サイト閲覧数 15,000 回 / 年	
2	集落営農・6次産 業化の支援	農地の利用集積や6次産業化などに必要となる営農組織づくりや設備、販路、会計管理、ブランド化など、一般農家のみでは困難な業務を支援する農業マネージャー（仮称）を設置し、集落営農や6次産業化などに対する支援制度の活用を促進します。 【具体的事業】 ○農業支援制度活用促進事業（農業マネージャー設置事業）（新規）		7
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		マネージャー設置	集落営農組織化 3 件 6次産業化 3 件	
3	林業の新たな事業 化の支援	林業に関する先進事例の研究を進め、東温市の実態に応じた林業支援に取り組めます。 【具体的事業】 ○自伐型林業の広報、研修事業（新規） ○林業先進事例調査研究事業（新規）		8
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		広報・研修事業 1 件 調査研究事業 2 件	研修参加者 5 人 / 年 新規木材供給先 1 件	



2. 市内企業を応援する

多様な業種の中小零細企業が、将来にわたって本市の経済を支え、さらに発展できるよう、販路拡大を支援します。また、本市の医療分野に大きく貢献している愛媛大学医学部附属病院と市内企業の連携を図り、特殊で専門性の高い新たな製品・サービスの開発や地域資源を活かした“東温市にしかない”ものづくり産業の創生を支援します。

2-1 販路拡大の促進

「脅威を回避する防衛戦略」

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	中小零細企業への支援	市内事業者の現状把握調査、イベント出展補助による販路拡大の支援、地域住民の身近なニーズに応えるサービス体制の強化を図ります。 【具体的事業】 ○ 中小零細企業現状調査事業（新規） ○ 中小零細企業販路拡大支援事業（新規）H27～ ○ 地域に根ざしたサービス体制整備（新規）		9
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		調査・分析 イベント出展支援	分析 1 件 イベント出展支援 15 件 / 年	
2	「逆」商談会の開催	大手流通業のバイヤーが買い手企業としてブースを構え、市内の中小零細企業・卸売業が直接売り込みをかける「逆」商談会を松山市と共同開催します。 【具体的事業】 ○ 中小零細企業販路拡大マッチング事業（新規）H27～		10
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		商談会開催 1 件 / 年	東温市と松山市を合わせた参加事業者 50 社 / 回 バイヤー 15 社 / 回 商談件数 100 件 / 回 開催 5 回	



No	施策名	施策の概要		施策番号
3	市内事業所による交流イベントの開催	市内の事業所による物産展及び商品見本市、他市町と連携した観光・物産展、家族で楽しめるゆるキャライベント等の開催や産業まつりへの支援を行います。 【具体的事業】 ○とうおんファミリーフェスティバル開催事業（新規）H27～ ○商工業振興関連助成事業（東温市産業まつり）（継続）		11
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		開催 1 回 / 年	参加事業所 30 社 / 年 来場者数 8,000 人 / 年	

2 - 2 愛大医学部と市内企業との連携

チャンスに変える差別化戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	ものづくり産業の創生	愛媛大学と市内事業所の共同研究による医療、健康福祉、介護に関連するものづくり産業の創生を図ります。 【具体的事業】 ○とうおん健康医療創生事業（新規）H27～		12
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		ものづくり産業の創生に向けた連携体制構築	新たなものづくり産業 2 件	
2	ヘルスケア産業の創生	愛媛大学と連携し、東温市の自然環境と安心安全な食材、愛大医学部附属病院のアンチエイジング体験などを組み合わせたヘルスケア産業の創生を図ります。 【具体的事業】 ○とうおん健康医療創生事業（新規）【再掲】H27～		13
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		ヘルスケア産業の創生に向けた連携体制構築	とうおんツーリズム参加者 120 人	



3. 新たな価値をつくる

これまで進めてきた「とうおんブランド」をさらにブラッシュアップし、新規ブランドやセット商品の開発、ブランディングを進めるとともに、ICT 活用による販路拡大など、刻々と変化する消費・需要に合わせた新産業を支援します。

3-1 とうおんブランドづくりの推進

弱みを克服する改善戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	新規ブランド、ふるさと名物商品の開発	東温産一次産品（いちご、麦など）又はこれを原材料とした加工品の開発及び販売促進への支援、関連製品のセット化による魅力向上等に取り組めます。 【具体的事業】 ○とうおんブランドづくり推進事業（新規）H27～ ○特産品セット等開発事業（新規）		14
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		新規ブランド展開への取組助成 セット商品開発委託	新規ブランド展開への取組 5 件/年 セット商品開発 6 件	
No	施策名	施策の概要		施策番号
2	とうおん銘菓のブラッシュアップ	東温銘菓の試作品のブラッシュアップ、商品化及び販路開拓への支援を行う「食文化創造プロジェクト」を実施します。 【具体的事業】 ○地域資源活用全国展開支援事業（食文化創造プロジェクト）（新規）H27～		15
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		試作品・商品開発等の支援件数 5 件	新商品開発件数 5 件	



3-2 消費・需要に合わせた新産業の育成

弱みを克服する改善戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	新規産業への支援	成長が見込まれる新規事業に対し、事業立ち上げ期の支援及び事業による雇用創出規模に応じた報奨制度を創設します。 【具体的事業】 ○新規事業立ち上げ支援事業（新規） ○新規事業雇用創出報奨金制度（新規）		16
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	新規事業 5 件 新規事業による雇用創出数 100 人	
2	ICT活用による生産販路の拡大	市内の事業者を紹介するサイトを構築し、特徴的な商品や製品などを分かりやすく紹介します。 【具体的事業】 ○特産品・企業等紹介サイト構築（新規）H27～（地方創生総合サイト構築事業）【再掲】		17
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		サイト構築 情報更新 50 件/年	サイト閲覧数 15,000 回/年	



基本目標 2 住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる

基本方針

地域資源を磨き上げ、PR することによって、市のイメージアップを図るとともに、移住・定住を促進する施策に官民一体となって取り組むことで、定住人口の増加を目指します。

成果目標

目標項目	単位	基準値	目標値（H31）
休日の滞在人口率	—	2 . 0 3 (H26)	2 . 6 0
転入超過数	人	1 4 8 (H22～H26)	3 0 0 (H27～H31)

R E S A S（地域経済分析システム）及び住民基本台帳年報より算出

休日の滞在人口率 = 滞在人口（2 時間以上滞在した人の数） / 国勢調査人口

施策設定に至るプロセス

強み

県都「松山市」に隣接している（通勤圏内）
 松山市のベッドタウンとして住環境が整っている
 都市と自然との程よい調和がある
 医療体制が整っている
 住みよさランキング県内 1 位
 （東洋経済新報社「都市データパック 2015 年版」より）
 市外からの転入者が増加している
 まちへの愛着をもっている人が多い
 坊っちゃん劇場（芸術・文化活動の拠点）がある

弱み

東温市の知名度が低い
 ベッドタウンとしての認識が多く、印象が薄い
 都市部と山間部で利便性に格差がある
 全国から人を呼び込める観光・物産が少ない（資源はある）
 商業施設に空き店舗が生じている
 市外への通学・通勤者が多い



各種会議の意見

- 「とうおん・山里空き家バンク」を構築し住宅確保弱者等を支援するとよい
- 働いている方も参画できるコミュニティが必要である
- レスパシティの活用と改善による交流やサービスが受けられる場をつくる
- 移住をすすめる上で、体験できる機会等が必要である
- UJターンについて、受け入れる側の教育が必要である
- サイクリングやウォーキングなど、健康増進を兼ねた観光を考えてはどうか
- クールス・モール、あさつゆマルシェの充実を図る
- SNS 活用（若年層に向けて） HP 活用、市民アプリ = CMR を開発する
- 県外、海外に向けて情報を発信する
- 空き家バンク（NPO 法人が運営） 空き家を活用して低家賃で賃貸する
- 移住サポーターを設置する（移住者と地域とのパイプ役をお願いする）
- 志津川土地区画整理事業を PR する
- 職業ワークショップを開催する

■：戦略会議意見 □：市民会議

議会からの提言

子育て世帯移住応援金 Uターン者への助成
 ゆりかごから墓場まで（市営納骨堂） Uターン住宅改修補助金
 空き家活用支援 劇場文化の産業開発
 日本版DMO形成支援 トロッコ列車による観光振興
 マラソンやサイクリングイベントの開催

アンケート調査

- まちの魅力や、頑張っている人たちを広報などで紹介（発信）するとよい
- 三世同居の場合、家を建てる際やリフォームの際に補助して欲しい
- 宅地整備事業や土地価格など、家の購入に関する情報を発信して欲しい
- 他県や海外の人を呼び込むような農業体験プログラムを実施したらどうか
- 空き家・空き店舗の活用をして欲しい（移住体験や観光資源としての活用）
- 移住者と地元者の交流会や、同世代の若者が集うイベント等を実施するとよい

なにをすべきか

1. 移住・定住を
応援する

- 1-1 移住・定住の促進
- 1-2 優良な住環境の整備
- 1-3 地域情報の発信

2. 地域資源で人
を呼ぶ

- 2-1 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興
- 2-2 観光資源の魅力強化



1. 移住・定住を応援する

移住・定住に関して、積極的な情報提供や体験型プランを実施するとともに、空き家を有効活用させるなど、移住・定住を応援する取組を進めます。また、地域における人材を発掘し、地域の魅力を収集・発信することで、移住・定住促進へとつなげていきます。

1-1 移住・定住の促進

強みを活かす積極戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	移住相談窓口の設置	移住希望者に対し、市内空き家情報、子育て施策等について一体的に情報発信を行います。 【具体的事業】 ○移住サポート事業（新規）H27～		18
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		移住相談者数 10 人/年	移住相談窓口を通じた移住者数 1 件/年	
2	移住・就業体験の実施	移住体験費用の支援、お試し就業を実施する協力企業への支援を行います。 【具体的事業】 ○移住・就業体験事業（新規）		19
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		移住・就業体験費用支援 2 件/年	制度を通じた転入 30 件	
3	UJI ターンの推進	雇用流入に繋がるテレワーカー等の入居費用の支援、都市部から移住し、一定期間居住する世帯（子育て世帯を重点支援）への引越し費用の支援を行います。 【具体的事業】 ○移住促進事業（新規）		20
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		入居費用支援 引越し費用支援	制度を通じた転入 30 件	



No	施策名	施策の概要		施策番号
4	お試し農業体験の実施	農業者等が実施する、都市住民と農村住民との交流体験事業への支援を行います。 【具体的事業】 ○ 農村体験・交流推進事業（新規）		21
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		交流事業開催 3 回/年	体験後の U J I ターン世帯 5 件	
5	Uターン奨学金制度の創設	学生期に既存制度による奨学金を受けた学生が県外から U ターンした場合に、居住期間に応じて返済額の一部について給付する制度を創設します。 【具体的事業】 ○ 給付型奨学金制度（新規）		22
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	制度による U ターン者 20 人/年	

1 - 2 優良な住環境の整備

《強みを活かす積極戦略》

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	空き家の活用	空き家バンクの構築により有効利用が可能な空き家の情報発信や、子育て世帯を中心とした移住者の受け入れ促進に向けた空き家の改修費用の支援を行います。 【具体的事業】 ○ 空き家有効活用支援事業（新規）		23
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	空き家活用数 10 件	
2	志津川土地区画整理事業地等の分譲促進	子育て世帯を中心とした移住希望者に対して、志津川土地区画整理事業地等の P R をより積極的に推進するとともに、分譲促進を図るための支援制度を創設します。 【具体的事業】 ○ 定住促進補助金交付事業（新規）		24
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	分譲地販売件数 60 件	



1-3 地域情報の発信

弱みを克服する改善戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	地域案内人制度の創設	地域案内人（移住サポーター）を認定し、東温市での暮らし方やイベントなどの地域情報を積極的に発信します。 【具体的事業】 ○ 地域案内人制度（新規）		25
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計 案内人 5 人登録	地域案内実施 5 件 / 年	
2	地方創生総合サイトの構築	地方創生に関する総合サイトを構築し、一体的に情報発信を行います。 【具体的事業】 ○ 地方創生総合サイト構築事業（新規）【再掲】H27～		26
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		サイト構築	サイト閲覧数 10 万回 / 年	
3	応援市民登録制度の創設	市外在住者で東温市に興味を持つ方に「東温市応援市民」として登録してもらい、情報交流人口の拡大を図ります。 【具体的事業】 ○ 応援市民登録サイト構築（新規）H27～ （地方創生総合サイト構築事業）【再掲】 ○ 応援市民特典制度（新規）		27
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計 サイト構築	応援市民 100 人	



２．地域資源で人を呼ぶ

坊っちゃん劇場を核にレスパスシティを有効活用し、芸術文化の発信、観光・交流の拠点となるよう支援します。また、緑あふれる豊かな自然を活用し、サイクリングやウォーキングなど、健康増進を兼ねた観光を推進します。

２-１ 坊っちゃん劇場を核とする文化・観光振興

弱みを克服する改善戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	レスパスシティの観光・交流拠点化	レスパシティを東温市の観光・交流拠点として位置づけ、地域外への積極的なPRを支援するとともに、地域の交流拠点としての機能増強を支援します。 【具体的事業】 ○「まちの駅（仮称）」整備支援事業（新規）		28
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		市街化区域編入 観光・交流拠点としてのPR支援 店舗施設を活用した市民活動の場づくり支援	地域の来場者数 10%増 観光客数 30%増	
2	坊っちゃん劇場を核とした文化交流の拠点化	「坊っちゃん劇場」を市民の憩いの場・文化交流の拠点とするとともに、学生との連携やプロフェッショナル人材の育成を支援します。 【具体的事業】 ○「劇場のまちづくり（仮称）」支援事業（新規）		29
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		劇場施設を活用した市民活動の場づくり支援 劇場公演を通じた文化交流支援 学生との連携支援	劇場集客数 10,000 人増加	



2-2 観光資源の魅力強化

《弱みを克服する改善戦略》

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	エコツーリズムによる「まちづくり型観光」の推進	自然環境、文化、歴史等を観光の対象としたエコツーリズムによる観光旅行商品の開発を推進します。 【具体的事業】 ○エコツーリズム促進事業（新規）		30
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		観光ツアー開催	参加者数 100 人/年	
2	滑川観光資源の活用	「なめがわ清流の森」などを地域振興の拠点として積極的にPR・活用し、交流人口の拡大を図ります。 【具体的事業】 ○「なめがわ清流の森」の宿泊体制整備（新規） ○滑川渓谷環境整備（新規）		31
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		宿泊体制整備 滑川渓谷周辺整備	利用者数 1,000 人増加	
3	サイクリングコースの開設、イベントの開催	県が推進する「自転車新文化」によるにぎわいの創出と交流人口の拡大に向け、東温市の地形を活かしたサイクリング・マラソン・ウォーキングなどのコースを設定するとともに、イベント開催時に市内特産品の販売・PR等を行います。 【具体的事業】 ○サイクリングコース整備事業（新規） ○サイクリングイベント開催事業（新規）H27～		32
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		コース設定 6 路線	イベント来場者 1,000 人	



基本目標 3 出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる

基本方針

既の実施している子育て支援策をより分かりやすく情報発信するとともに、共働きを前提とした子育て支援の拡充を図ることによって、安心して子どもを産み育てることができる地域社会の実現を目指します。

成果目標

目標項目	単位	基準値		目標値（H31）
20代後半女性の未婚率	%	62.7 (H22)	➡	58.0
合計特殊出生率	—	1.40 (H27)	➡	1.53

国勢調査及び人口動態保健所・市区町村別集計より算出
合計特殊出生率については、独自に算出

施策設定に至るプロセス

強み

待機児童はいない
児童福祉施設が充実している
子どもの医療費助成や保育料軽減を実施している
若年女性（15-49歳）が比較的多い
とうおん子ども科学＆環境会議等、学びの場がある
住みよさランキング県内1位（再掲）

弱み

未婚率が高い
晩婚化、晩産化が見られる
高等教育については市外、県外の高校、大学等に依存している
合計特殊出生率が低い
一人当たりの所得が県平均より低い



各種会議の意見

- 婚活イベントは、民間の取組との連携も必要である
- 産後フォロー等、ハード・ソフト両面からサポートする
- 子ども医療費助成や保育料軽減等、子育て世帯の経済的メリットを周知する
- 児童クラブが充実していることを広く周知して欲しい
- 雇用環境向上制度の積極利用を推進してほしい
- ファミリー・サポート・センターはサービスの認知度向上が必要である
- 子育てに係る行政の経済的支援が必要である
- チャイルドシートなどの育児用品のリースを実施する
- 自然環境を活かした学習機会の充実などで子どもの里心を育む
- 子育てボランティアグループの参画を推進する
- 子どもの人数による地域間格差を是正する
- 三世帯同居を推進する

議会からの提言

男女交流出会いの場づくり
三世帯同居の追加支援
小学生までの子どもの医療費無料化
女性が働ける職場の充実

■：戦略会議意見 □：市民会議

アンケート調査

- 婚活イベント等をどんどんして欲しい
- 不妊治療の助成等、医療費の助成があれば子どもが欲しい
- 一時的な預かり、働き方に合わせた子どもの預かり場所を充実して欲しい
- 子育てと仕事が両立できるよう、雇用の充実や企業への啓発をして欲しい
- 子育てママ歓迎の職場の情報を収集し、発信して欲しい

なにをすべきか

1. 出会いを応援する

1-1 婚活への支援

2. 妊活・出産を応援する

2-1 妊活・出産への支援

3. 子育てを応援する

- 3-1 三世帯同居への支援
- 3-2 子育て世帯への経済支援
- 3-3 子育てしやすい環境づくり
- 3-4 特色ある教育の推進



1. 出会いを応援する

結婚セミナーを開催し、お付き合いや結婚に関する意識啓発を図るとともに、民間で開催されている婚活事業への参加促進を図ります。また、結婚を希望する人を応援する縁結びサポーターを育成します。

1-1 婚活への支援

強みを活かす積極戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	婚活事業への支援	結婚セミナーを開催し、結婚についての意識啓発を実施するとともに、民間婚活イベントの周知を図り、参加促進につなげます。 【具体的事業】 ○結婚セミナー開催事業（新規）H27～ ○婚活イベント支援事業（新規）		33
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		開催3回/年 民間婚活イベント支援	セミナー参加者120人/年	
2	縁結びサポーターの育成	カップル誕生を後押しする人材として「縁結びサポーター」を認定し、研修事業を行うなどして、民間婚活イベント等におけるスタッフとしての活躍を推進します。 【具体的事業】 ○縁結びサポーター育成事業（新規）		34
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		育成事業1件/年	サポーター認定5人	



2. 妊活・出産を応援する

不妊治療を始めとする不妊に関する様々な悩みをお持ちの方に対し、精神的、経済的負担を軽減するため、相談対応や特定不妊治療への助成を行います。また、子育て世帯の負担軽減と環境保全の観点から、ベビーカー、絵本等の子ども用品のリサイクルを促進します。

2-1 妊活・出産への支援

弱みを克服する改善戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	特定不妊治療への助成	不妊に関する精神的、経済的負担を軽減する相談対応や特定不妊治療への助成を行います。 【具体的事業】 ○不妊に関する相談業務（継続） ○特定不妊治療費助成事業（継続）		35
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		相談業務	特定不妊治療費助成 20 件/年	
2	子ども用品のリサイクル促進	短期間しか使わず家に眠っている子ども用品（絵本、ベビーカー、子ども服など）を交換する場を設けます。 【具体的事業】 ○子ども用品リサイクル事業（新規）		36
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		交換会開催 1 回/年	参加者 50 人/年	



3. 子育てを応援する

親世代の共働きが多い現状において、シニア世代や地域住民による子どもの見守り、温かくにぎやかな家族環境の形成など、現代的な課題への効果が期待される三世代同居を推進します。また、子育て世代への経済支援については、将来的な市の財政負担を考慮しながら、継続性の見込める支援策を着実に実施します。

3-1 三世代同居への支援

チャンスに変える差別化戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	三世代同居・近居家族への支援	三世代同居・近居家族に対して住宅の新築・改修費等の支援を行います。 【具体的事業】 ○三世代同居支え愛家族支援事業（新規）H27～		37
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		必要に応じて拡充を検討	新築・購入補助 6 件/年 増改築・リフォーム 25 件/年	

3-2 子育て世帯への経済支援

脅威を回避する防衛戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	保育料の軽減	保育所の保育料を国が定める基準額より軽減します。 【具体的事業】 ○保育料の軽減（継続）		38
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		保育料 2 割軽減	施設利用者数 500 人以上/年	
2	第 3 子以降の保育料軽減	第 3 子以降の児童にかかる保育料又は幼稚園の使用料を一律で軽減します。（第 3 子とは、その世帯が扶養する 3 人目の子を指し、上の子の年齢は制限なし） 【具体的事業】 ○多子世帯への保育料の軽減（新規）H27～		39
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		一定額軽減	施設利用者数 500 人以上/年	



No	施策名	施策の概要		施策番号
3	多子世帯への住宅支援	多子世帯に対する住宅支援制度（空き家を活用した割安賃貸住宅や入居費支援など）を創設します。 【具体的事業】 ○多子世帯住宅ニーズ把握調査（新規） ○多子世帯住宅支援事業（新規）		40
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	支援件数 10 件	
4	子どもの医療費助成	子どもの医療費（入院・通院）について、助成します。 【具体的事業】 ○子ども医療費助成事業（継続）		41
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		状況に応じて拡充を検討	-	
5	子育て応援パスポートの発行	子育て世帯に対し、市内の協賛店舗で利用できる応援パスポートを配布する制度を創設します。 【具体的事業】 ○子育て応援パスポート発行事業（新規）		42
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	協賛店舗 100 軒 応援パスポートブック作成 3,000 部 利用特典 150 件	



3-3 子育てしやすい環境づくり

脅威を回避する防衛戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	園児・児童預かりサービス、児童館の内容充実	市内の保育所、幼稚園、放課後子ども教室、放課後児童クラブ及び児童館の内容充実と運営体制の強化を図ります。 【具体的事業】 ○人材バンクによる外部人材を講師として活用（年齢に合わせた遊び、英会話、リトミック、読み聞かせなど）（新規） ○子育て支援拡充事業（新規）H27～		43
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		講師人材 5 人活用 運営体制の強化	新児童館利用者数 30,000 人（うち中高生 3,000 人）/年	
2	子育てに関するインターネット総合サイトの構築	子育て支援策に関する、インターネット総合サイトを構築することで、分かりやすく情報を発信します。 【具体的事業】 ○子育て情報総合サイト構築（新規）H27～（地方創生総合サイト構築事業）【再掲】		44
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		サイト構築	サイト閲覧数 15,000 回/年	
3	ワーク・ライフ・バランス、働き方の見直し支援	事業者が行う雇用環境改善の取組みに対して支援します。 【具体的事業】 ○雇用環境改善支援事業（新規） ○雇用環境向上制度活用（新規）		45
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	活用事業者 5 件	



No	施策名	施策の概要		施策番号
4	出産後の職場復帰・再就職の支援	出産や育児を経た女性に対し、職場への復帰や再就職が円滑に行えるよう支援します。 【具体的事業】 ○女性の職場復帰・再就職支援事業（新規）		46
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	制度を活用して職場復帰又は再就職した女性 20 人	
5	ファミリー・サポート・センターの充実	ファミリー・サポート・センター協力会員の登録促進及び利用会員へのサポート内容の拡充を図ります。 【具体的事業】 ○ファミリー・サポート・センター利用促進事業（新規）		47
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		サポート内容の拡充	協力会員 50 人/年 利用件数 700 件/年	

3 - 4 特色ある教育の推進

強みを活かす積極戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	ふるさと教育・キャリア教育の推進	豊かな自然や伝統行事を活かしたふるさと教育やキャリア教育を推進します。 【具体的事業】 ○特色のある学校づくり事業（継続）		48
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		各学校の自主性を重視して実施	特色ある授業 50 件	
2	地域の伝統・歴史等の教育の充実	地域に受け継がれてきた伝統、歴史、産業等に関する教育の充実を図ります。 【具体的事業】 ○副読本の製作、配布（継続）		49
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		副読本の改訂	東温市に愛着を持つ中学生の割合 5 % 増加	



基本目標 4 安心して生涯暮らせる、夢の持てる地域社会をつくる

基本方針

市民の力を市政に活かすとともに、他市町と連携して広域的な視点で社会、経済構造の転換を図ることにより、誰もが夢といきがいを持って、生き活きと暮らせる生産性の高いまちの実現を目指します。

成果目標

目標項目	単位	基準値	目標値（H31）
東温市に住みたいと思う市民の割合（16～22歳）	%	68.0 （H27）	75.0
生活にいきがいがあると感じる高齢者の割合	%	74.2 （H27）	80.0

総合戦略アンケート及び高齢者福祉計画アンケートより算出

施策設定に至るプロセス

強み

伝統行事が各地域で盛んであり、世代間交流がある
各種スポーツ大会への参加が多く、地域住民の交流が盛んである
ボランティアや各種サークルなど、市民活動が盛んである
山間集落であっても、車があれば都市部に短時間で行き来できる
各地域にリーダーシップを発揮する人材が存在する
県都松山市に隣接している

弱み

山間集落では子どもが減り、学校の存続が危惧される地域がある
高齢化と人口流出で、集落の維持が困難となっている地域がある
自治組織への未加入や、地域コミュニティの希薄化が進んでいる
地域活動の担い手不足により、一定の人に負担が集中している
都市部と山間部で利便性に格差がある



各種会議の意見

- 市民による地域づくりが重要である
- 集落の維持・活性化にも小さな拠点づくりが必要である
- シニア人材の活用には、高齢者市場・高齢者ニーズに注目すべき
- 食や環境のことを考える場や機会が必要である
- 観光の広域化が必要である
- 地域の伝統行事を維持発展させていって欲しい
- 横河原の駅前エリア、川内インター付近を活性化する
- リタイヤ後の“人材バンク”を市が管理する
- 地域リーダー、地域推進隊を育成する

■：戦略会議意見 □：市民会議意見

議会からの提言

未来会議の設置
 コミュニティビジネスへの支援
 地域の意思で使える補助金
 地域の若者人材育成支援
 審議会等における若手の登用
 地域エンターテイナーの発掘
 乗馬クラブの活用

アンケート調査

- 東温市の魅力である自然を大切にしたい
- 地域での防犯、防災対策が必要である
- 高齢者が住みやすいまちにしたい
- 東温市らしい花が咲くすてきなまちになるとよい

なにをすべきか

1．時代に合った地域をつくる

- 1-1 市民と連携したまちづくりの強化
- 1-2 集落の維持・活性化
- 1-3 アクティブシニアの推進

2．地域同士で支えあう

- 2-1 広域連携による地域の活性化



1. 時代に合った地域をつくる

市民の要望に沿った、市民による地域づくりを推進するため、ワークショップの開催等、積極的に市民参画を推進します。中山間地域においては、集落支援員、地域おこし協力隊等外部人材と地域住民の協働による活性化を図ります。また、元気な高齢者に地域づくりに参加してもらうため、シニア人材の発掘、活用を推進します。

1-1 市民と連携したまちづくりの強化

強みを活かす積極戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	市民ワークショップの開催	市民が主体となってまちづくりについて考える市民ワークショップを開催します。 【具体的事業】 ○とうおん未来会議開催事業（継続）		50
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		開催 4 回 / 年	参加者数 120 人 / 年	
2	市民提案事業への助成	市民や市民団体が自らの企画提案を発表できる機会を設け、外部有識者等により選定された提案について支援を行います。 【具体的事業】 ○市民提案事業支援事業（新規）		51
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	提案 5 件 / 年	
3	まちづくり団体等の育成	地域活性化に寄与するまちづくり団体等に対して、専門的な知識を有する外部専門員を派遣するなど、自立・組織化に向けた支援を行います。 【具体的事業】 ○まちづくり団体等育成事業（新規）		52
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		まちづくりを考えるワークショップ開催 4 回 / 年	まちづくり団体等組織化 1 件	



No	施策名	施策の概要		施策番号
4	多世代交流拠点の整備	市内の空き家・空き店舗等を活用し、多世代が気軽に交流できる場をつくることで、高齢者の生きがいづくり、子どもの居場所、若者、子育て世代の学習機会を提供します。 【具体的事業】 ○多世代交流拠点整備事業（新規）H27～		53
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		施設整備 1 箇所	施設利用者数 5,000 人/年	
5	地域通貨制度の創設	地域通貨制度を創設し、日常の「ちょっとした困り事」を助け合えるコミュニティの促進を図ります。 【具体的事業】 ○とうおん地域通貨事業（新規）		54
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		制度設計	生活支援ボランティア登録 50 人 利用件数 1,000 件	

1 - 2 集落の維持・活性化

《チャンスに変える差別化戦略》

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	地域人材・外部人材活用による集落活性化	集落支援員、地域おこし協力隊、大学等研究機関の外部人材を積極活用し、地域と連携して集落の活性化を図ります。 【具体的事業】 ○集落支援員設置事業（新規）H27～ ○地域おこし協力隊導入事業（新規） ○大学等研究機関の地域連携事業の活用（新規）		55
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		集落支援員 5 人設置 地域おこし協力隊 2 人導入	新規に集落維持・活性化に取り組む地区 5 地区	



No	施策名	施策の概要		施策番号
2	中山間地域における住民主体の取組支援	中山間地域で活性化を目指す団体等に対し、継続した活動につながるよう地域特性を活かした取組み（地域の歴史を活かした観光、乗馬体験、薬用作物栽培など独自性のある取組み）に対して支援します。 【具体的事業】 ○中山間地域頑張る地域支援事業（新規）		56
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		活用 5 件 県事業活用 5 件	新規に集落維持・活性化に取組む地区 3 地区	

1-3 アクティブシニアの推進

脅威を回避する防衛戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	シニア人材の発掘、登録、活用	趣味や特技を持つシニア人材等を広く発掘・登録する人材バンクを構築し、様々な場所で活躍できるよう情報発信を行います。 【具体的事業】 ○地域人材バンクサイト構築（新規）H27～（地方創生総合サイト構築事業）【再掲】		57
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		人材バンク構築	登録者数 50 人	
2	シニア人材活躍の場としてのサロンの整備	シニア人材が自らの多様なスキルを活かし、生きがいを持って過ごせる場として、「働ける・稼げる」シニアサロンの整備を進めます。 【具体的事業】 ○シニアサロン整備事業（新規）		58
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		拠点整備 2 箇所	利用者数 2,000 人	



2. 地域同士で支えあう

本市と一体的な生活圏を形成する松山圏域における連携体制を強化し、市民に必要な行政サービスを広域で充実させていく取り組みを推進します。

2-1 広域連携による地域の活性化

チャンスに変える差別化戦略>>

No	施策名	施策の概要		施策番号
1	松山圏域連携中枢都市圏の形成	松山市を中心とした愛媛県中予地区の3市3町が連携して「松山圏域連携中枢都市圏」を形成し、観光、医療、教育、防災その他の多種多様な施策を推進します。 【具体的事業】 ○松山圏域連携中枢都市圏の形成 （新規）H27～		59
		KPI（行動目標）	KPI（成果目標）	
		連携に向けた協議・協約締結	連携事業実施10件	



東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成27年度～平成31年度

平成27年10月

東温市 総務部 企画財政課

〒791-0292 愛媛県東温市見奈良530番地1

TEL : 089-964-2001 (代)

: 089-964-4401 (課直通)